

がん遺伝子パネル検査用 病理組織検体取寄せ依頼書

本検査では下記の病理組織検体が必要となります。

つきましては、**必ず病理検体、病理診断書（コピー）**のご準備をお願いいたしたく、ご連絡させていただきました。

もし貴院で免疫染色も実施されておられましたら、その標本も併せてご提供頂けると幸いです。

以上、お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

<お送りいただくもの>

☐ HE 標本：1 枚

※複数ブロックをお送りいただく場合は、それぞれの HE 標本をお送りください。

☐ ①または②の病理検体

① FFPE ブロック

※腫瘍割合が多い部分のブロックをお送りください。

※ブロック検体の返却は検査結果説明後になります。

※組織量が少ない場合は、返却するブロック内に組織が残らない場合がありますので、ご了承ください。

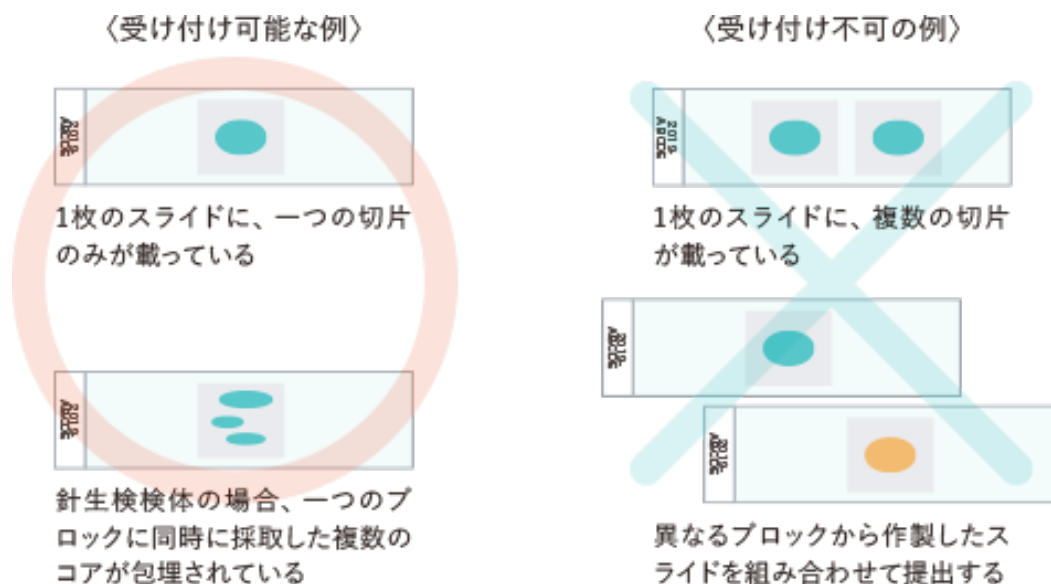
② FFPE 薄切未染色標本（2 種類の厚さのご準備をお願いいたします）

- 5μm 厚（コーティングガラス）： 15 枚
（がん遺伝子パネル検査に提出用）
- 3～4μm 厚（コーティングガラス）： 5 枚
（組織型により免疫染色を追加するため）

☐ 病理組織診断書

以下のようにスライド作成をお願いいたします。

1 スライドに 2 切片だと検査できませんのでご注意ください。



<https://chugai-pharm.jp/pr/npr/fl/flt/test/speci/> より引用

【注意点】

- **加熱・伸展操作はおこなわないでください。**
- **腫瘍細胞率が低い場合や組織が小さい場合は、ブロック検体の送付**をご検討ください。
- 固定液は **10%中性緩衝ホルマリン溶液**であることを確認してください。
- **固定時間が 48 時間を超えるもの、あるいは作成後 3 年以上経過した検体は、検査がうまくいかない場合があります。**
- **腫瘍細胞率が 20%以上（肝臓の場合は 40%以上）**の部位を送付ください。

検体送付先

京都大学医学部附属病院 地域医療連携室
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
電話：075-751-3111

当院での現在取り扱っているがんゲノム検査の詳細につきましては、がんセンターのホームページ「がんゲノム医療」「がんゲノム特別外来受診の流れ」をご参照ください。

URL: <http://www.cancer.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

上記内容に不明な点がございましたら、当院地域医療連携室までお問合せください。
お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。